

郷土の誇り 津島神社



初詣
New Year's shrine visit

「津島の天王さん」と呼ばれ
多くの人に親しまれている津島神社。
「西の八坂神社、東の津島神社」
疫病災難除け、授福の神である
牛頭天王信仰の総本社です。



Tsushima Shrine

Tsushima Shrine is the main shrine of the Tsushima Shrines located throughout Japan in more than 3,000 locations. The shrine is referred to with a sense of familiarity and is called Tsushima-san or Tennen-san. The shrine receives approximately 300,000 visitors over the New Year's period and 1 million visitors throughout the year. Thanks to the support of Hideyoshi Toyotomi and the Tokugawa clan, the main shrine building has been designated as a national significant cultural asset.



ち
茅の輪くぐり
Chinowa-kuguri ritual

本殿前の茅の輪をくぐる行事。輪をくぐると一年間無病息災で暮らせると伝わり、初詣で訪れる人々に喜ばれています。



南門
Tsushima shrine south gate
秀吉の息子・秀頼が、秀吉の病氣平癒を願って寄進。

人々の崇拝が絶えない
天王さまの総本社

津

島神社は、古くは牛頭天王社と呼ばれ、欽明天皇元年(540)に創建。建速須佐之男命を祭神とし、大穴牟遲命(大國主命)が相殿に奉祀されており、全国に3000以上点在する「津島神社」の総本社です。江戸時代には、お伊勢参りの折に参拝することがならわしとなっており、現在も「津島さん」「天王さん」と呼ばれて親しまれ、正月だけでも約30万

人、年間約100万人の人々が「津島詣」に訪れます。

織田信長は、自らの産土神として崇敬し、豊臣秀吉や徳川家からも庇護を受け、中でも朱塗りの楼門は秀吉の寄進によるもの。また、本殿は家康の4男で清洲城主だった松平忠吉の健康を祈願し、妻政子の寄進と伝わり、いずれも国の重要文化財に指定されています。

開扉祭(おみと) Omito

「天王祭」に次ぐ重要な祭典で、毎年旧暦2月1日に行われます。点火された大松明を担いで東境内を練り、楼門をくぐり、拝殿前に整列します。松明の燃え残りにご利益があるとされ、参拝者は眠って持ち帰ります。





尾張津島

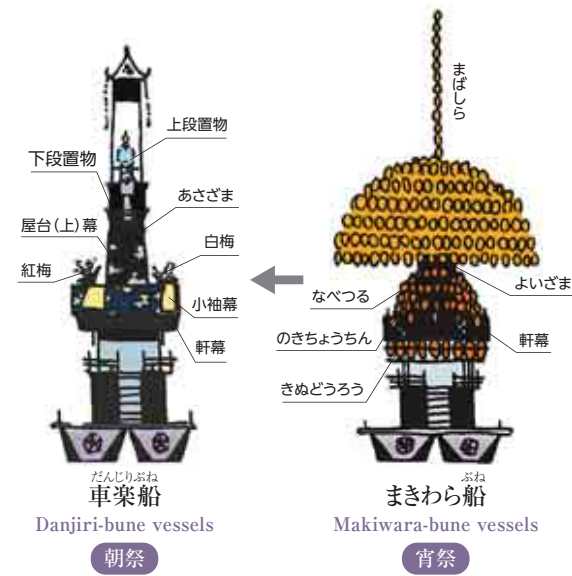
天王

灯りと水のドラマ
天王祭の由来

日 本三大川祭りの一つに数えら
れ、津島神社の祭礼である天

王祭。その起源は、南北朝時代、津島
に逃れてきた南朝方の良王親王を守
る津島武士が、北朝方の武士を船遊
びに誘い、討ち取ったことに由来する
行事、または、津島神社の「神葎流し」
の神事をもとにしたものと伝わるな
ど、定かではありません。

永禄3年(1560)の桶狭間の戦い
の2年前に、織田信長が夫人同伴で、
現在のお旅所^{なほしよ}付近
に架けられていた
天王橋から朝祭を
見物した記録があ
ります。



ちご
稚児の神前奏楽
Period musical performance by chigo
神輿還御の後、拜殿で稚児による奏楽が行われ、朝祭は幕を閉じます。



出船(朝祭)
Ship launching (Asa-matsuri)
市江車を先頭に6艘の車楽船が古楽を奏でながら、勇壮に漕ぎ進みます。



祭

悠々と、五〇〇年

日本三大川祭りの一つ、
船の上に一年を表す 365 個の提灯が半球状にともる。

Owari Tsushima Tennen Festival

Owari Tsushima Tennen Festival is known as one of the three major festivals in Japan and is a ritual held at Tsushima Shrine. Nobunaga Oda, accompanied by his wife, viewed the festival from Tennen Bridge, which once stood near the temporary float storehouse, two years before the Battle of Okehazama (1560).

The festival is held over two days with the first day taking place on the fourth Saturday of July, which is known as Yoi-matsuri, and Asa-matsuri, which is held on the following Sunday. The highlight of the Yoi-matsuri is the five makiwara-bune vessels that throw glimmering reflections across the waters of the Tennen River. During Asa-matsuri, vessels are rowed down the river while playing period music. Spear bearers jump into the river one after another from the ichie-guruma vessels that lead the other vessels. This festival has been designated as a national significant intangible folk cultural asset of Japan for its value as a ceremonial and cultural event.

光と水の時代絵巻
その2日間
祭 礼は7月第四土曜日の「宵祭」、翌日曜日の「朝祭」という順に行われます。宵祭の見どころは、500個以上もの提灯を飾り、天王川の水面にゆらゆらとその姿を映す5艘の「まきわら船」。朝祭では、能人形の置物を戴いた祭船が古楽を奏でながら漕ぎ進み、鉾持ちたちが先頭の「市江車」から次々と池に飛び込みます。この天王祭の車楽舟の行事は、祭礼行事、風俗習慣として国の重要無形民俗文化財に指定されています。



ちご
稚児打廻
Child(Chigo) parade
天王祭の主役を演じる稚児は、5~6歳の男子が選ばれ、優美で華麗な衣装をまとい、登場します。



みこしとぎよ
神輿渡御
Mikoshi(portable shrine)parade
宵祭、朝祭の船を御神覧のため、100mに及ぶ華麗な行列が続き、お旅所へ移動します。



にょいでんか
如意点火
Lighting the lantern
太鼓が鳴り響く中、真柱(「如意」とも言う。)に提灯を揚げた後、各部分の提灯点火が進められます。



たびしよ
お旅所の神輿に礼拝
Worshipping at the portable shrine enclosed in the storehouse
まきわら船が天王川を漕ぎ渡ってお旅所に着岸すると、車屋一行は上陸し、供を従えて石段を登り、お旅所の神輿に礼拝します。



尾張津島 秋まつり

今市場、神守の4地区から16台がにぎやかに練り出します。中でも目を引くのがからくり人形。津島囃子に合わせて動くその姿は変幻自在で、文字を書くもの、空に飛ぶものなど、迫真の演技が観衆を魅了します。

全ての山車のからくり奉納が終わるのは、薄闇の頃。すると山車に提灯が灯され、華麗な時間を名残惜しむかのように、各町内へと戻ります。



神守山車
Kamori float

文化年間(1804~1818)に始まったと伝えられ、古くは特別な行事の時に限り、奉納されていました。



子供獅子
Children with Shishigashira
愛らしい獅子頭にはっぴ姿の元気な子どもたち。拍子木と鐘を持って「わっしょいチロリン」の掛け声で練り歩きます。

石採祭車
Ishidori matsuri guruma
巨大な天幕をかかげ、威勢よく鉦や太鼓を打ち鳴らしながら町中を練り歩きます。

Owari Tsushima Autumn Festival

The Autumn Festival traces its origins to the Edo Period and is held each year on the first Sunday of October and the preceding Saturday. The highlights of the festival include floats carrying traditional wind-up dolls, which are important cultural and historical assets of the city. The breathtaking performances of the wind-up dolls, including some that draw characters and some that fly and are accompanied by traditional Tsushima music, amaze spectators. After the dedication is complete, the lanterns of the floats are lit and travel throughout the community.

江

絢爛豪華な山車とからくり人形の披露

戸時代、市神社で行われた山車と練り物の祭りを発祥とする「秋まつり」。

10月第一日曜日とその前日の土曜日に開催されます。

祭りの特徴は、からくり人形を乗せた山車で、どれも長い歴史を誇る文化財。七切、向島、

祭り

美しい藤のカーテンは津島の春の象徴

市
の花にも指定されている藤。天王川公園の藤棚はスケールが大きく、その美しさは見事です。また、津島は昔「藤浪の里」と呼ばれていたほど、藤の名所として知られています。

そんな津島の藤を思い切り楽しむのが、毎年4月下旬から5月上旬に行われる「藤まつり」です。広大な敷地を誇る天王川公園を舞台に、長さ2

尾張津島 藤まつり

75メートル、面積5034平方メートルにも及ぶ藤棚の下、多くの人が訪れ、爛漫と咲く姿に目を奪われながら、甘い香りを

楽しみます。また、期間中の夜にはライトアップも行われ、疏水を染める藤の群房は、幻想的で雅な世界を彩ります。美しく、やさしい日本の伝統色に心が洗われるかのようなです。

四季を彩る

雅で美しい藤棚
Elegant and amazing wisteria trellis
藤棚の下を流れる疏水。その水面に映える優美な藤の花が、華麗なる時を刻みます。

Owari Tsushima Wisteria Festival

Wisteria is the official flower of Tsushima. Tsushima is also known as a great place to view wisteria, and Tennohgawa Park has a large wisteria garden that amazes visitors. Fuji-matsuri, or the wisteria festival, is held each year from late April to early May, allowing visitors to admire and walk under the 275 meter-long flowering wisteria canopy that covers 5,034 m². During the festival, the park is lit with wisteria flowers throwing reflections onto the canal creating a mystical and elegant scene.





津島神社道標
Signpost for Tsushima shrine

津島街道追分には「右／つしま天王みち、左／さやみち」と刻まれた道標が、橋詰通りには「左／津島神社参宮道」という道標が残っています。写真は橋詰通りの道標。

Column

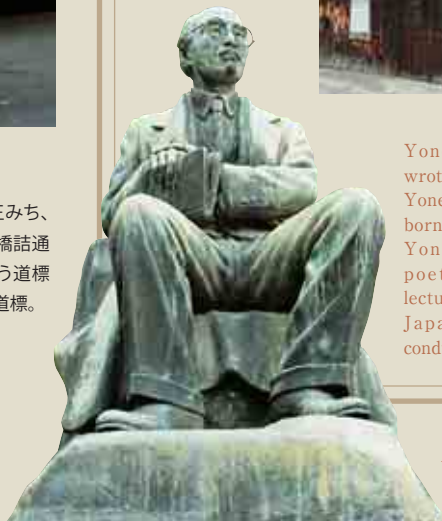
津島が生んだ世界的詩人

ヨネ・ノグチをペンネームとした野口米次郎は、明治8年(1875)に津島で生まれた詩人。サンフランシスコ、シカゴ、ロンドン、インドなどを渡り、詩集の刊行や講演集の出版、アジア研究を行いました。



ヨネ・ノグチ生家

Yonejiro Noguchi, who wrote under the pen name Yone Noguchi, was a poet born in 1875 in Tsushima. Yonejiro published his poetry anthology and lecture transcripts in both Japan and abroad and conducted research in Asia.



ヨネ・ノグチ
Yone Noguchi



街道にある老舗

Long-established store on a major historic highway

安政2年(1855)創業の糺屋をはじめ、町屋など、商業地としての趣がよく残っています。



上切の井戸

A well in Kamikiri

江戸時代から使われていたという町の井戸。今も水が湧き出ています。



堀田家住宅／内部

Inside of the Hotta Family Residence

江戸時代中期の正徳年間(1711~1716)に建てられた商家の住宅。津島商人の暮らしを知ることができます。

歴史的

まちなみ散策

格子戸の町屋がたたずみ、人々の往来を今も見守る道標など、商都の趣が薫るまち。

津

鳥神社の門前町として、佐屋川の湊町であった津島の町は、伊勢や美濃、三河、知多などと水上交通で結びつく伊勢湾交易の重要地として早くから発展していました。津島には、北を走る上街道、南を走る下街道、そして二つの街道を繋いで町を横断する巡見街道が走り、これら三つの街道が古くから商業地としての発展をもたらしてきたと考えられます。商業発展の基盤となったのは、中世以降、津島神社の神官の一部が座を組

み、神社の保護を受けながら商いを興したことに始まります。結末の固い商工業者は、独自で自治を行い、富を築き上げました。やがて、津島の財力が戦国時代には織田家を支え、豊臣家や徳川家ともゆかりある町へとなっています。そんな津島の奥ゆかしい歴史と繁栄を物語るのが堀田家住宅です。黒塀に囲まれた旧家は約300年という由緒があり、江戸時代中期の町屋建築を今に伝え、国の重要文化財に指定されています。邸内には、豊臣秀吉の紋が入った鉄燈籠や、刀掛けのある茶室が残っています。

また津島街道追分

には、往時を偲ぶ道標が今も残り、歴史の古さを物語っている他、戦国武将・加藤清正公ゆかりの社、商家の面影を残す格子戸、尾根神様、宿場跡などがあり、湊町や商都として発展した証を今に伝えています。



さんようそう
三養荘
Sanyo-sou

邸内に茶室が設けられた大規模な数寄屋の建物。本町筋の町屋が連なる中に建っています。

Strolling Through the Historic Cityscape

Tsushima developed as a strategic point for Ise Bay commerce from early times. Running through the city is a major historic highway, which allows one to imagine how the city developed as a center of commerce. In the middle ages, business in the area thrived due to the presence of Tsushima Shrine, while during the Sengoku period, the financial strength of Tsushima supported the Oda clan. The area later deepened its relationship with the Toyotomi and Tokugawa clans. The Hotta Family Residence was built over 300 years ago and has been designated a national cultural asset. Traditional road signs and the remnants of inns are evidence that the town developed as an important port town and business center.



いちがみしゃ
市神社
Ichigami shrine

津島神社の境外末社で、市場の守り神であり、商売繁盛の祈願者が訪れます。

屋根神様
Yanegami-sama



ろくじぞうそん
六地藏尊
Roku jizo-son

